# **ススキ地域性種苗の設計採用に関するアンケート**

・アンケートＷｏｒｄ原稿は、協会HP([**http://www**](http://www).ryokkakou.jp/)からダウンロードすることができます。

# (1)　ススキ地域性種苗の採取(種)範囲について

当協会(案)のススキ地域性種苗の採取(種)区分に関してお伺いします。

全国6区分とする範囲について
 ①　賛成

②　反対

③　その他

ご意見がありましたならばご記載ください。

# (2)　ススキ地域性種苗の市場形成について

生物多様性保全に配慮した緑化を行おうと設計に組み込んだとしても、市場が形成されていないと入手困難となり施工不能となります。平成30年度に当協会が行った各県技術管理課(建設・農林)などに対して行った調査では、生物多様性保全に対応すべく計画したが、植物材料の入手ができず取りやめたという返答が多く寄せられました。このような状態を解決するための市場形成の誘導についてお伺いします。

1. 市場形成の誘導は必要である
2. 市場形成の誘導は必要ない。
3. その他

 　　　ご意見がありましたならばご記載ください。

# (3)　ススキ地域性種苗の設計折り込みについて

ススキ地域性種苗の市場形成を誘導するためには、種苗会社があらかじめ在庫を持つことが必要となります。しかし、売れ残る資材は在庫を持つことかできないため、次の条件を満足させることか必要となります。

 ススキ地域性種苗の各県の年間設計採用(使用)量

60kg程度 (北海道の場合は100kg～500kg程度)

播種量3g・発生期待本数1,000本/㎡として2万㎡　(北海道の場合は3.3万㎡～17万㎡)

この場合の設計価格　¥100,000円/kg

　貴県で、上記条件でススキ地域性種苗を設計組込することが可能でしょうか？

①　可能

②　不可能

③　その他

ご意見がありましたならばご記載ください。

# (4)　生物多様性保全に配慮した緑化の推進について

生物多様性保全に配慮した緑化を行うためにススキ以外の地域性種苗について亜種レベルの遺伝子に配慮した採取範囲を定め、市場形成を促して行くことが必要と考えられます。

現在、ススキについで遺伝子解析が進んでいるのものとしてヨモギをあげることができますが、ススキ以外の他の地域性種苗も採取(種)区分を作成し、年間設計採用(使用)量、単価を提示するならば、採用、設計折り込みは可能でしょうか。

 ①　可能

 ②　不可能

 ③　その他

 ご意見がありましたならばご記載ください。

# (5)　国の主導について

生物多様性保全に配慮した緑化を行うために遺伝子に配慮した採取範囲を定め、市場形成を促すことについて、環境省や国土交通省、林野庁などが主導して仕組みづくりを行った場合、採用、設計折り込みが可能でしょうか。

 ①　可能

 ②　不可能

 ③　その他

 ご意見がありましたならばご記載ください。

# (6)　他に生物多様性保全に関する取組に関する意見がありましたならば、ご記載ください。

地球規模の気候変動などにより、斜面･法面緑化で多用されてきた外来牧草の作柄が不良となり、入手困難、或いは価格暴騰となっております。

また、国際情勢の変化により(外国産)在来植物の輸入が困難となることも考えられます。この点で、国内産の緑化植物を用いる方向へと舵切りが必要な時期に到っているとも考えられます。

気候変動、及び我が国を取り巻く社会環境の変動を踏まえた対策など、生物多様性保全に配慮した斜面･法面緑化を行うことに関するご意見など、ご記載ください。

アンケートの取りまとめ結果をお返しいたします。

差し障りがなければ、所属、メールアドレスなどご記載ください。

氏名

所属

メールアドレス

* **アンケートに返答いただけた場合、第42回緑化工技術講習会にご招待申し上げます。**

**同封の案内書に必要事項をご記載の上「アンケート回答」と記載し、申込みください。**

 アンケートへのご協力、ありがとう御座いました。